



# *GOVERNOR'S MONTHLY LETTER*

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉 憲 哉

2019.9

Vol. **3**



ROTARY CONNECTS THE WORLD



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ  
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

夏の陽がかげり  
秋風がしのび寄る  
ミヤギノハギの小枝に  
紅の花群がゆれる  
虫の音を誘うように

CONTENTS

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 国際ロータリーのテーマ        | 1   |
| Governor's message | 2   |
| 文庫通信 [378]         | 3   |
| 会員増強セミナー報告         | 4   |
| 第1回オリエンテーション報告     | 5   |
| 米山記念奨学生研修旅行報告      | 6   |
| ガバナー公式訪問クラブ報告      | 7   |
| 鎮西学院高校平和祈念大行進      | 10  |
| マダガスカル通信Vol.2      | 11  |
| 地区大会案内             | 12  |
| 芸術家の視点・編集後記        | 裏表紙 |

## Governor's message



## 74回目の長崎原爆の日思う

2019－2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

ロータリーの大きな使命として、世界平和があります。世界平和センターとして東京に国際基督教大学が指定されています。

8月9日は長崎に原爆が投下されてから、今年で74回目の原爆の日です。また、今年も多くの被爆者がお亡くなりになり、原爆死没者名簿に追加奉安されました。次第に被爆者の方が少なくなっています。核廃絶の声は被爆2世が立ち上がらねばならないことになりつつあります。

実はわたくしは被爆2世です。両親も兄も被爆者です。私はこの年齢（72歳）になっても、原爆の日の11時2分の鎮魂の鐘の音を聞くのは嫌いです。思い出したくない「家族の思い出」があるからです。

私の母は74年前、原爆落下中心点から2キロ弱の西浦上の自宅で、ミシンを踏んでいました。母は当時25歳でした。8月9日11時2分、突然の光と強烈な音に思わず、後ろを振り向き、同時に、強烈な熱線が降り注ぎました。思わず、手で顔を覆い、左手の指が左の眼に刺さり込み、失明、顔が変形しました。同時に建物が一挙に崩壊、下敷きになり、母の体中に窓ガラス片が多数、突き刺さりました。運よく即死しませんでした。ミシンの傍らで遊んでいた、まだ2歳半の私の兄は行方不明となり、探し出せませんでした。母は無我夢中で、見えない目で地面を這うように体を引きずりながら、田んぼの水を飲みながら、0.5キロ離れた父の実家に助けを求めたのです。

浦上ではその後も悲劇は長く続きました。私はその1年半後、長崎で被爆2世として生まれました。少年時代は、周囲には、まだ被爆の残骸が残っていました。近所には原爆の被爆者がたくさん住んでおられ、皮膚は“ケロイド”と言って重傷のやけどで皮膚がただれたり、手や顔は癒着したり、変形したりし、全身に熱傷の痕を持つ人達でした。原爆の被爆を受けた方々がたくさんまわりで生きておられましたが、原爆症で徐々にいつのまにか亡くなられていきました。長崎の中心部に住んでいる人からさえも浦上の人には被爆者だからと差別され、交際を避けられ、結婚も就職もできない人がたくさんおられました。そのような社会的、経済的、肉体的苦悩を持つ人が、人生に失望し、私の家の前を走る長崎本線に飛び込み自殺することが頻繁に起こり、それが当時の普通の風景でした。

57年前頃までは、自宅の前の三菱兵器工場跡（現在の長崎大学本部）にはまだ、原爆で破壊された、建物跡がたくさん残っていました。その後、急速に復興が進み、遺構を隠すように、原爆被害の建物は取り除かれていきました。浦上天主堂も跡形もなく取り壊されました。広島と比べて、被爆遺構が長崎に少ないのは残念です。なぜでしょう？



私の中学の卒業式に“変形した左顔面に片目”の母は付いてきてくれました。その時、母は私に「ごめんね！ こんな顔でついてきて」と言いました。「どうしてそんなこと言うの？ 来てくれてうれしかとに！」と私は言いました。卒業式について来てくれた母に感謝こそすれ、謝られることはありません。卒業記念写真には母が失明し変形した左の顔を隠して写っていました。母はその後、乳癌になり、私が18歳の時、突然なくなりました。43歳でした。遺体にはまだ多数のガラス片が残ってありました。被爆と癌との医学的関係を調べるための米国の原爆調査機関A B C Cが遺体解剖を薦めましたが、私達、家族は拒否しました。原爆を投下した米国の機関から解剖されるのは屈辱と考えたからです。その後、私の家族は原爆について、戦争について一切語りませんでした。

今日の話は死亡する前に母が少しか、語ってくれた「家族の思い出」です。

二度とこんな悲劇を地上で繰り返してはなりません。

今は、戦争も原爆も知らない世代ばかりです。被爆体験のない人は“被爆による差別”さえも全くの他人事です。怖さと悲劇をすべて消し去っているのです。世界の情勢は軍縮どころか核兵器開発競争へと進んでいます。歴史の経験から学ぶ大切さを忘れてはいけません。核兵器廃絶への運動として力強く世界にアピールする必要があります。この悲劇を繰り返さないために、核廃絶を叫ぶ必要性を実感しているロータリアンは日本にしかいません。ロータリアンは平和な世界が続くように努力しなければなりません。

世界平和フェローを当地区から出して、第2740地区全体で核廃絶を訴えようではありませんか。



## 文庫通信 [378]

ロータリー文庫通信378号 2019年8月 ガバナー座談会

ロータリーは時代と共に常に変化してきました。時代によってその変化の様相は異なります。その捉え方も異なります。今回は、過去20年～40年前に遡り、それぞれの時代のガバナーの座談会やシンポジウムの中で語られているその時々の課題や関心事を紹介します。

過去の日本のシニアリーダーたちが将来の日本のロータリーに期待していたことが何であったか、今の国際ロータリーを考える上で参考にしてください。

| 書名                                    | 著者 / 出版社        | 発行年          | 頁   |   |
|---------------------------------------|-----------------|--------------|-----|---|
| 変革期のロータリー（座談会）                        | - ロータリーの友       | 1979<br>・7月  | P5  | ※ |
| 個人の自発的奉仕が根本<br>-再び変革期のロータリーについて（座談会）  | - ロータリーの友       | 1980<br>・4月  | P5  | ※ |
| いまロータリーに何が必要か（座談会）                    | - ロータリーの友       | 1985<br>・5月  | P5  | ※ |
| 新しい流れにどう対応するか（座談会）                    | - ロータリーの友       | 1989<br>・6月  | P5  | ※ |
| われわれロータリアンの真価が問われるとき<br>（座談会）         | - ロータリーの友       | 1994<br>・5月  | P6  | ※ |
| ロータリーについて<br>（D.2780 地区大会会長幹事会シンポジウム） | - D.2780地区大会報告書 | 2000<br>・10月 | P11 | ※ |

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

## 2019－2020年度 第2740地区会員増強セミナー報告

会員増強委員会 委員長 佐 藤 豊（長崎琴海RC）

日時 2019年7月28日(日) 14:00～16:30

場所 東彼杵総合会館大会議室

千葉ガバナーをはじめ、ご来賓のご出席のもと、第1回の会員増強セミナーを開催しました。  
プログラムは主に次の事柄が中心でした。

- ①「会員増強の新しいプラン」 千葉憲哉ガバナー
- ②「会員増強の現状と成功のために」
- ③「新会員のためのテキスト」の効果的な活用について

①では千葉ガバナーから、女性のロータリー入会の経緯が説明され、時代と共に活躍する女性の入会を積極的に取り組むことが肝要。

②会員増強はロータリーの永遠のテーマであるが決して困難ではない。

退会理由は転勤など様々の理由があるが、最も悩ましい退会者は入会3年未満の人々に集中している。この3年未満の会員の退会防止策は定期的に適切なロータリーの基礎的知識を学ぶ機会を徹底しよう。

入会勧誘については、勧誘される候補者が不安なく応じられるよう2人以上で入会を勧めてみてはどうか。

③①今日からロータリアン 中山 晴義 地区委員

②これだけは知っておきたいロータリーの基礎 馬場 貴博 地区委員  
効果的な活用方法を説明。

講評では駒井パストガバナーからセミナーの結論として、会員増強の成否がクラブ運営に大きく関与すること、テキストも具体的な活用策を実行されない限り成果は期待できない。積極的な活用によって知識を蓄え会員増強を推進しようと激励された後、散会。

なお、2020年1月中旬から下旬に3年未満の会員向けセミナーを開催したいと願っています。  
暑い中、全クラブからご参加頂いた皆様に感謝を申し上げます。







## 第1回オリエンテーション報告

地区国際青少年交換委員会 委員 下津浦 正明 (佐世保南RC)

2019～2020 RID2740 YEP 1st オリエンテーション

いよいよ、2019年千葉ガバナー年度が始まり、最初のオリエンテーションでした。

アーリー・ジェフリー新委員長の下、新任3名の委員も加わり45名の参加者！

今夏、離日する4名の親善大使、帰国したばかりのROTEX、カウンセラーやシャペロンに参加頂きました。帰国したばかりの、ROTEXの城岩さん（長崎日大高校）には、RIDが発行するDIPLOMA（国際青少年交換プログラム終了証書）を授与致しました。同時に、来日学生には同様のcertificateを発行しております。過去のROTEXの方で、このDIPLOMAの発行希望の方はガバナー事務局にお問い合わせ頂ければ、当委員会が発行の手続きをお手伝い致しますのでお知らせしておきます。今年度は、6名もの来日学生が予定されております。益々、盛んにこのRIDの公式プログラムを推進して、質の高い青少年奉仕を目指してまいります。

The first orientation of RID 2740 youth exchange program at Isahaya Bunka Kaikan with number of 45 people who are two new committee member total 11, new outbound students, counselors from chapter rotary clubs and chaperones are gathered under new first American Chair person Mr. Geoffrey Early. We are expecting 6 inbounds on this summer.

We all members of YEP committee will make an effort to seek higher quality of volunteer activities ever.

Thank you



## 米山記念奨学生研修旅行報告

佐賀大学大学院博士後期課程 謝 冉（神埼 R C）

### 熊本・阿蘇山研修旅行について

7月14日から15日の2日間の研修に参加できて、私にとっては非常に幸せだと思う。5年前に一度熊本城に行ったことがあったが、地震後の熊本城の様子をもう一度見たら、非常に残念だと思う。また、自然に囲まれた阿蘇山を見て、普段の疲れを一気に癒された。以前もいろいろな旅行や交流活動に参加したが、このように日本人と留学生とが一緒に参加する旅行をしたことがない。今回の研修旅行を通じて、日本の文化や名勝を体験できただけでなく、カウンセラーや留学生たちとの交流の中で、非常にいい関係を作り、日本と外国との架け橋になりたいと思う。これからも積極的に、このような研修旅行や交流活動に参加したいと思う。



## ガバナー公式訪問クラブ報告



### 北松浦 R C 7月16日(火)

会長 横尾 成人 幹事 佐伯 勝実

令和元年7月16日(火)千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、法師山眞人ガバナー補佐(当クラブ所属)をお迎えして、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

今回の例会は2740地区の今期公式訪問第一番目となっていたために会長・幹事・S A Aなどの準備が追い付かず粗相がないか心配ではありましたが、無事に終了することができ安堵しています。

また、例会に先立ち会長・幹事懇談会が開催され、45分と短い時間ではありましたが、率直な意見交換をさせていただき、大変有意義な時間となりました。

懇談会の中では今回のアンケートについての話題が上がり、その中に「楽しめる・出席したくなる例会」、「ロータリーの重要な要素として会員の親睦がある」とのお話があった時には、「北松浦ロータリークラブはまさにそこが自慢です」と心の中で思った次第です。

チャーターメンバーから、入会1年生まで、例会や奉仕活動、懇親会を通じて忌憚なく話ができ、おいしい食事を囲んで明るい例会を楽しむ事が出来るクラブ、それが北松浦ロータリークラブです。今回の公式訪問でこの雰囲気をもっと感じていただけたのではないかと思います。

公式訪問例会では、千葉ガバナーのPowerPointを用いた卓話をお聞きし、RIテーマや地区運営方針のほか、アンケート結果から見える「北松浦ロータリークラブの弱点」を解説いただきました。皆時には笑い、また時には真剣に卓話に聞き入るすばらしい例会となりました。

これから猛暑が続く中、お身体に充分ご留意され、無事に公式訪問が終了される事をご祈念し、クラブ報告とさせていただきます。



2018年11月2日～4日の2泊3日で姉妹クラブである釜山東南ロータリークラブに訪問した時の写真です。



### 唐津西 R C 7月17日(水)

会長 熊川 嘉秀 幹事 渡辺 孝輔

梅雨明け前の曇天模様の中の7月17日に、千葉憲哉ガバナー、辻幸徳ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、公式訪問ありがとうございます。

さて、当クラブでは例年2回の社会奉仕活動を柱として活動しております。それは公共の場への植樹、虹の松原の清掃の2つとなっております。

公共の場への植樹は単純に木を植えて終了ではなく、広めの公園など複数年度に渡って敷地内を一周するように植樹をし、植樹する場所全体の環境整備と美観を一緒に考えた植樹となっております。今現在は市内二太子地区の衣干山の百年桜の周りを植樹しておりますので桜の季節には是非お立ち寄り下さい。

虹の松原の清掃は唐津市の象徴の一つである虹の松原が昔のような美しい白砂青松の松原に戻る事を夢みて始めた奉仕活動です。日本3大松原の一つである虹の松原、唐津にお越しの際は鏡山の展望台からの雄大な眺めをお楽しみ下さい。

また、非公式行事ながら当クラブのチャーターメンバーである故・中嶋廉太氏の肝煎りでラブアース・クリーンアップという海岸一斉清掃活動にも参加しております。

以上、唐津西クラブの奉仕活動の紹介でした。





## ガバナー公式訪問クラブ報告



## 佐世保南 R C 7月19日(金)

会長 矢次 保夫 幹事 宮地 学

2019年7月19日(金)、千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、岡田金助ガバナー補佐が当クラブへ公式訪問されました。

例会開催前に当クラブの矢次会長、大浦副会長、宮地幹事、作元会長エレクトとの懇談会があり、アンケートの調査結果に関する件やロータリークラブの現状等についてお話をすることが出来ました。その中でロータリーに関する理解不足が退会者を増加させている要因であること、長期戦略の不足による単年度の対策しかできていないことがロータリーの魅力を低下させている原因ではないかというお話は、当クラブの運営において大いに参考になるものでした。



また、例会におけるガバナーの卓話は、予想に反し堅苦しくない楽しい内容のものでした。千葉ガバナーの人となりや垣間見ることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。千葉ガバナーにおかれましては、お体に留意され、この多忙な1年間を無事過ごされますよう、当クラブ一同心よりお祈り申し上げます。



## 唐津東 R C 7月25日(木)

会長 松尾 憲篤 幹事 坂本慎一郎

我がロータリークラブは本年55周年を迎え、60周年に向け新たな出発の年と位置づけられております。落ち着いて55年を振り返りビジョン構築をスタートすることになりました。創立以来、親睦と融和の精神と寛容の心を大切にする精神が脈々とながれ、品格もユーモアも超一流の先輩が多く在籍されております。本日も90代のチャーターメンバーをはじめ3名の面々が若手メンバーと自然体で昼食をとられている。考えてみれば週に一度このような機会を当たり前のように接し、触れ合い、分かち合っていることがどんなに素晴らしいことだろうかと、あらためて驚嘆しております。例会や親睦会ではあまりふれられることはないのですがそれぞれの地域、業界で寡黙に奉仕活動をなさっているメンバーが多いのも私たちが誇るべき特徴の一つです。入会が浅いメンバーにはロータリーをもっと知りたいという心強い方や、親睦活動やいろんな場面でしっかりリーダーシップをとっていただけるメンバーがいらっしゃいます。ひるがえって世の中を見渡してみる時に時代は多様化がますます進んでいることは確かですが、変えてはいけない精神を大切に、変化には柔軟に対応する臨機応変なメンバーが多いことが、我がクラブの誇りであり、特徴であるように思うこの頃です。



## ガバナー公式訪問クラブ報告



**武雄 R C** 7月29日(月)

会長 原 隆司 幹事 谷口 優

7月29日(月)午後5時から、武雄センチュリーホテルに於いて、国際ロータリー第2740地区千葉憲哉ガバナーをお迎えして、公式訪問例会を開いた。7月1日に武雄ロータリークラブ会長に就任して間もなくの公式訪問で、会員から「原君も緊張することのあるとね」と冷やかされる始末。

千葉ガバナーは気さくな方で、ガバナーの大役に意欲満々に見えた。ガバナーは、ロータリーでの親睦の重要さを力説されたが、親睦と言え、我が武雄クラブには他に類を見ない『雑技団』がある。当日も歌や演奏を披露して、ガバナーからお褒めの言葉をいただいた。この他に、ゴルフ同好会、ボウリング同好会があり、隔月に例会を開いて親睦の輪(和)を広げている。

当日は、披露できなかったが、武雄クラブにはとっておきの隠し玉がある。キングレコード所属のプロ歌手・原口豊秀君だ。11月29日正午から佐賀マリトピアで新曲発表ショーが予定されており、多忙の日々だ。是非ご覧頂きたい。



**長崎みなと R C** 7月30日(火)

会長 桑岡 隆太 幹事 大坪 進

令和元年7月30日(火)、榊平安閣サンプリエールにおいて、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣ガバナー補佐、松田洋一地区副幹事をお迎えして、長崎みなと R C 第1852回公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ちまして、千葉憲哉ガバナーをはじめとする当クラブ桑岡会長、大坪幹事、本多会長エレクトを交えて懇談会を行い、当クラブが支援している「子ども食堂ながさき」の実態説明をするなかで、千葉ガバナーから東京地区のクラブでは色々な事情を考慮した集合型ではなく、宅配による支援で形態は多岐にあること、また、補助金利用も出来るということを知りました。

当クラブも、子供たちに負担のない支援を心がけていくべきだと思いました。

今回のアンケート調査では、当クラブの分析は「社会貢献」、「効率的なクラブ運営」についてご指導を賜ることになりました。

今後は、千葉ガバナー推奨の「長期戦略委員会」の設置も踏まえて「改善計画」、「事業計画」を協議し、有意義で楽しいクラブ運営を行っていききたいと思います。

千葉憲哉ガバナー公式訪問に感謝すると共に、今年度のご活躍を心より祈念申し上げます。

(子ども食堂ながさき利用の皆さんと一緒に伊王島でバーベキューを開催したり、クリスマスには、各家庭にケーキをプレゼントしました。)



## 2019年夏 鎮西学院高校平和祈念大行進

月信担当 緒 方 聖 (諫早北RC)

今年もまた、その季節が巡ってきた。暑い夏である。

人の記憶は、肉体が置かれた身辺の情景とそこで意識した苦痛とともに蓄積されるけれど、そのまま化石のように脳底の奥深く埋もれてしまうことはない。同じ状況に逢着すると、即座に脳裏に蘇ってくる性質を持っている。

遙かに過ぎ去った74年前、1945年の夏8月の敗戦という国家的存亡の淵より、我々日本人は筆舌に尽くしがたい苦難の道を歩んできたが、それと引き換えに平和という尊い教訓を学んだ。戦争という無謀な行為を繰り返さない戦争放棄の決意と核兵器の非人道性を、毎年巡りくる8月には発信し続けてきた。それは暑い季節が来るたびにその思いが繰り返し湧いてくるからである。

前置きが長くなったが、諫早北RCがインターアクトクラブを提唱している鎮西学院高校では、被爆地長崎と東日本大震災の被災地福島の同じ苦悩を知る若者が心を寄せ合い、「決して忘れまじあの惨事を」、とこれまで数回にわたり平和祈念行事を行ってきた。今回の企画も同じ精神の流れをくむもので、世界の恒久平和を希求するロータリーも歩調を合わせる事となった。

具体的なアクションは2019年8月8日、市の中央に位置する諫早市役所を起点に始められた。出発式には諫早市長を初め、学校側から姜尚中学院長、ロータリー関係からは千葉ガバナーが出席され、平和大行進の意義と激励の言葉が贈られた。特にガバナーからは被爆二世として実体験談が披露されたが、それについては本誌の中で別に掲載する予定である。参加者はそれぞれ所属のグループ別に隊列を組み、ある者は折からの暑さに備えてムギワラ帽子をかぶり、またある者は首に冷たいタオルを巻くという思い思いの出で立ちである。



学院の吹奏楽部の演奏に合わせて、街の中心部である東小路、栄町から本町通り、さらに八天町へとゆっくりした足取りで隊列は進む。アーケード街では店頭で足を止めて声援を送る買い物客、一体何事かと飛び出してくる店員、いつもは静かな歩行者天国も今日は時ならぬ珍客で賑わい、大勢の市民が人垣を作って応援してくれた。

全行程3kmに及ぶこのコースも街中を過ぎると、上空から容赦なく照り付ける真夏の太陽を遮るものもなく、次第に参加者の額には汗がにじみ寡黙が炎天下の行進を支配し始めた。暑さに加えて疲れが始め、このような悪条件の中、行進を押し通す意義がどこにあるのか、決意のほどが試される時が迫りつつあった。それほど過酷な負荷ではないけれど、それに耐えて最後まで歩きとおすことに祈りの深さが備わっていると信じ、隊列は黙々と進んでいった。

国道沿いの歩道は車の騒音に排気ガス、次第に募ってくるのどの渇きに水分の補給をしながら、泉町—金谷町—天満町と諫早の西方面へと足取りは重くなっていった。本明川に架かる四面橋を渡れば諫早の玄関口、諫早駅はもう近い。これから先は緩やかな坂道があるだけ、ゴール地点の鎮西学院は目前となった。ほどなく校門へたどり着けば待機していた大勢の生徒たちの出迎えを受けて、一人の落後者もなく大行進は終わった。参加者の心のうちに、平和への祈りをささげた爽やかな風がよぎったことだろう。

JICA海外協力隊

## マダガスカル通信

Vol.2

発行/2019年6月30日 発行者/酒井 貴子 (2018-2019年度 ロータリー財団奨学生)

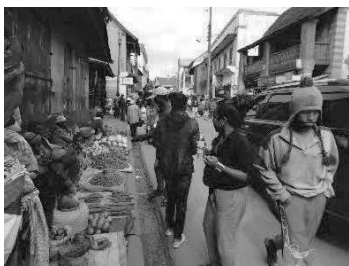


### 任地アンブシチャにやってきました！

#### アンブシチャはこんなところ！

首都研修後の、5月16日にこれから2年間活動する予定のアンブシチャに赴任しました。首都から南に7時間の田舎です。任地には他の協力隊員はおらず、いわゆる一人任地になります。

アンブシチャはアムルニマニ県の中心地区、日本でいう県庁所在地のような位置づけです。首都のような大型スーパーはなく、食料品は下の写真のような路上販売で購入します。街中には牛が歩いていたり、鶏やガチョウが売られていたり首都と比べると田舎という感じですが、それでもマダガスカルでは栄えている街だそうです。



また首都とは違い、路線バス走っておらず、少し遠いところまで行く際はブスブスという人力車で移動することが多いようです。



お客さんを待つブスのたまり場。人が通るとベルを鳴らしてアピールします。

#### 私のお家は…

私は三階建ての集合住宅の1階で一人暮らしをしています。間取りはかなり広いダイニング、小さいキッチン、寝室、客間、バスルームと一人暮らしには十分すぎる広さです。たまに停電がありますが、比較的電気と水道は安定していますが、シャワーはお湯が出ないのでバケツ入浴をしています。そのほか、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機もありません。日本では当たり前には享受していた便利さのありがたみをひしひしと感じています。また家の隣にはガチョウが住んでいて毎日けたたましい鳴き声で朝5時に起こされます。家の中にはたくさんのゴキブリがいますが、日本から持って行ったホウ酸団子が効果を発揮しています。最初は見つける度にドキドキしていましたが、最近は平常心で外に掃き出せるようになりました。何かと初めてのことがいっぱいですが、早寝早起きになって一日が長く感じられるようになりました。これを機に料理や新しい趣味を始めるなどせっかくのこちらでの生活を充実させていきたいと思います。

#### アンブシチャを街歩き！

アンブシチャはこの地域では大きい街ということでたくさんのお店、商店があります。特に木工技術が発達している地域なので、街を歩いていると木製の雑貨屋さんがたくさんあり、写真のような美しい木工製品がたくさん売られています。フランス人や中国人など観光客も見られます。自分でデザインした絵でオーダーメイドの商品を作ることでもでき、協力隊員もよく活用しています。



美しい木工製品のテーブル、この他、人やバオバブなどが描かれたデザインの商品も！



木工製品のお店が並ぶ通り。

街中にはマダガスカルならではの食べ物も売られています。マダガスカルでは牛の肉が一番安いので、牛肉を串に刺した牛串、マシキータが1本100アリアリ（3円弱）で食べられます。ビールのおつまみとしてぴったりです！また、米粉の生地を油でこんがり焼いたムフガシも朝食やおやつにぴったりの軽食です。



ムフガシ。特にこのお店はいつもアツアツで大人気！

### 6月26日はマダガスカルの独立記念日

先日、6月26日はマダガスカルの独立記念日でした。一週間前からはメリーゴーラウンドや観覧車（全て手動です）、お酒とマシキータ（牛串）などが楽しめるお店がたくさん広場に登場し、前日には花火も打ち上げられました。当日はセレモニーが行われ地域の学校や会社の人々が行進を行いました。私も同僚とおそろいの衣装を仕立てて、行進に参加しました！





国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度地区大会

## Program プログラム

2019年



第1日目

11月8日 金

会場/L&L ホテルセンリュウ  
長崎県諫早市永昌東町13-29

16:00～ ◎危機管理セミナー

18:00～ ◎歓迎晩餐会



第2日目

11月9日 土

会場/諫早文化会館  
長崎県諫早市宇都町9-2

9:00～ ◎エクスカーション

10:00～ ◎大会4委員会・青少年のつどい

12:10～ ◎本会議第1部

14:30～ ◎地区大会記念講演  
ケント・ギルバート氏

16:00～ ◎本会議第2部

17:30 ◎点鐘

一般公開  
入場無料会場/ホテルグランドパレス諫早  
長崎県諫早市宇都町3-35

18:30～ ◎記念懇親会



第3日目

11月10日 日

会場/長崎国際ゴルフ倶楽部  
長崎県諫早市小ヶ倉町51地区大会記念  
親睦ゴルフ大会

スタート時間 7:30～



## 地区大会記念講演

ケント・ギルバート氏

11月9日 土 ◎14:30～ ◎諫早文化会館

一般公開  
入場無料

1952年、米国アイダホ州生まれ、ユタ州育ち。71年、米ブリガムヤング大学在学中に19歳で初来日。75年、沖縄国際海洋博覧会の際にアメリカ館のガイドとして再来日。80年、大学院を卒業し法学博士号と経営学修士号、カリフォルニア州弁護士資格を取得。東京の国際法律事務所に就職。83年、テレビ番組「世界まるごとHOWマッチ」にレギュラー出演し、一躍人気タレントとなる。近年は企業経営や講演、執筆活動も行う。

夕刊フジ連載「ニッポンの新常識」、読売テレビ系「そこまで言って委員会NP」、DHCシアター「真相深入り! 虎ノ門ニュース」など。



ホストクラブ: 諫早北RC コ・ホストクラブ: 諫早RC/諫早西RC/諫早多良見RC/諫早南RC

国際ロータリー第2740地区大会事務局 TEL.0957-46-3096

〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 FAX.0957-46-3097 <http://www.d2740.org/>



## 芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

## 夏の終わり

伊東 静雄（詩人）

夜来の颱風にひとりはぐれた白い雲が  
 気のとほくなるほど澄みに澄んだ  
 かぐはしい大気の空をながれてゆく  
 太陽の燃えかがやく野の景観に  
 それがおほさく落す静かな翳は  
 ・・・さよなら・・・さやうなら・・・  
 ・・・さよなら・・・さやうなら・・・  
 いちいちさう頷く眼差のやうに一  
 筋ひかる街道をよこぎり  
 あざやかな暗緑の水田の面を移り  
 ちひさく動く行人をおひ越して  
 しずかにしずかに村落の屋根屋根や  
 樹上にかげり  
 ・・・さよなら・・・さやうなら・・・  
 ・・・さよなら・・・さやうなら・・・  
 ずっとこの会釈をつつけながら  
 やがて優しくわが視野から遠ざかる

日本名詩選 三より



蒼穹のちぎれ雲

夏の太陽は光も強烈でエネルギーに満ちているけれど、台風一過澄み切った空を彷徨うように流れる一片の雲には、何故かしら季節の移ろいにも抵抗できぬ弱さが見られる。地上の物の上に影を曳きながら遠ざかる雲は、今様に言えばドローンが眺める風景のようで、恰も会釈をする人の仕草にも似ている。過ぎし日の作者自身の何者かへの謝罪の回想であろうか。

## 編集後記

編集委員の一人、川崎です。どうぞよろしく。ロータリー年度も早いもので三カ月目に入ります。公式訪問の記事が出てまいりましたが、例年と異なり、各クラブの特色を記してくださいと、楽しい雰囲気となりました。他のクラブもこの調子で面白いご報告を待っています。

（川崎）